

1月20日(水曜日)「イサクへの祝福」

【新改訳 2017】

創世記 25・11

「アブラハムは死後、神は彼の子イサクを祝福された。イサクはベエル・ラハイ・ロイの近くに住みついた。」

イスラエル民族の祖とされ、信仰の父とも言われるアブラハムは、百七十五年の生涯を閉じました。彼は平安な老年を迎え、長寿を全うして息絶えたと言われます。

その生涯の閉じ方は、神を信じている者ならみな同じというわけではありません。しかし、一つの共通点があります。それは、たましいの平安です。なんと幸いなことでしょう。

世代交換は必ず来ます。彼に代わって、その子イサクが家長となりました。神はイサクの責任ある出発を祝福してくださったとあります。イサクは、信仰深い父アブラハムの生活から多くのことを学び取ったと思いますが、神ご自身の祝福があつてこそ、そのような経験も生かされるのです。神は、実に祝福の神です。なんと感謝なことでしょう。しかもこの祝福は、今あなたのためにも約束されているのです。

～祈り～

主なる神さま。あなたは、「選ばれた者」を祝福して始めさせてくださるお方です。何かのために召しを覚える者が、この真理で慰められますように。自分もそのことがわかりますように。

**【学びのために】**

主は、ご自分が選んで用いようとされる人(今は、すべてのキリスト者)を、その選び(または召し)の時点で祝福して下さることを知ります。これは大きな励ましです。ガラテヤ 3・14 参照。